

島根原子力発電所の運転状況（平成23年11月分）

中国電力担当分

【1号機】：自主的な点検のため、平成22年3月31日に発電停止。
 【2号機】：11月21日に制御棒分布変更。それ以外の期間は定格熱出力一定運転を行った。

1 運転保守状況（中電データ）

号機	炉型	定格電気出力	営業運転開始日	11月の設備利用率(%)	11月の発電電力量(万kWh)	12月19日の状況	備考
1号機	BWR	46万kW	S49.3.29	0.0	0	停止中 (H22.3.31～) 第29回 定期検査中 (H22.11.8～)	別紙のとおり ※運転再開時期未定
2号機	BWR	82万kW	H1.2.10	99.8	58,946	運転中 (H22.12.6～)	別紙のとおり

2 安全協定第9条で規定するLCO逸脱事象（11月18日～12月19日）

該当なし

3 安全協定第10条で規定する異常事象（11月18日～12月19日）

該当なし

4 放射性固体廃棄物管理状況（中電データ）

11月末現在

	11月末保管量(前月比増減量)	11月発生量	11月処理量 ^{※2}	前月末保管量
ドラム缶保管量 (本)	23,936 (332)	354	▲22	23,604
その他の種類の保管量 (本相当)	3,548 (1)	1	0	3,547
合計	27,484 (333) ^{※1}	355	▲22	27,151

※1 保管能力：35,500本 ※2 処理方法：減容処理、焼却処理、低レベル放射性廃棄物埋設センターへの搬出

5 使用済燃料貯蔵状況（中電データ）11月末現在（単位：体）

	1号機	2号機	合計
燃料プール貯蔵量	322	1,956	2,278
貯蔵容量	1,140	3,518	4,658
管理容量	660	2,818	3,478

管理容量＝全容量－（1炉心分^{※3}＋約1取替分^{※4}）

※3：1号機 400体 2号機 560体

※4：1号機 80体 2号機 140体

島根県担当分

6 放射性廃棄物の放出状況（中電データ）

今月までの放出実績は年間放出管理目標値等を下回っている。

（単位：Bq）

	放射性液体廃棄物(11月)		放射性気体廃棄物(11月)		放射性気体廃棄物(7～9月)			
	トリチウムを除く	トリチウム	放射性希ガス	放射性碘素(I-131)	トリチウム(7月)	トリチウム(8月)	トリチウム(9月)	全粒子状物質(7～9月)
原子炉施設合計 (今年度累計)	ND ^{※1} (ND)	5.8 × 10 ¹⁰ (2.1 × 10 ¹¹)	ND ^{※2} (ND)	ND ^{※3} (2.5 × 10 ⁶) ^{※7}	2.5 × 10 ¹⁰	3.0 × 10 ¹⁰	2.7 × 10 ¹⁰	ND ^{※4}
号機別 ^{※6}								
1号機	放出実績なし	放出実績なし	ND ^{※2}	ND ^{※3}	5.1 × 10 ⁹	7.9 × 10 ⁹	6.7 × 10 ⁹	ND ^{※4}
2号機	ND ^{※1}	5.8 × 10 ¹⁰	ND ^{※2}	ND ^{※3}	2.0 × 10 ¹⁰	2.2 × 10 ¹⁰	2.1 × 10 ¹⁰	ND ^{※4}
年間放出管理目標値	7.4 × 10 ¹⁰	7.4 × 10 ¹² ^{※5}	8.4 × 10 ¹⁴	4.3 × 10 ¹⁰	—	—	—	—
サイトバンカ建物	—	—	—	ND ^{※3}	5.1 × 10 ⁸	6.2 × 10 ⁸	4.7 × 10 ⁸	ND ^{※4}

※1～4：検出限界値（※1：約2 × 10⁻² Bq/cm³以下（⁶⁰Co代表）、※2：約2 × 10⁻² Bq/cm³以下、※3：約7 × 10⁻⁹ Bq/cm³以下、※4：約4 × 10⁻⁹ Bq/cm³以下（⁶⁰Co代表）

※5：年間放出管理の基準値を示す ※6：液体廃棄物については放水口別内訳 ※7：検出されたI-131は、福島第一原子力発電所事故の影響によるものと推測

（排気筒モニタ値及び放水路水モニタ値）

（単位：cps）

		11月分		先月の実績		安全協定で定める 通報基準値
		最小	平均	最小	平均	
排気筒モニタ	1号機	4.8	5.9	5.0	5.9	500 ^{※9} (1,000 ^{※10})
	2号機	2.7	3.3	2.7	3.3	500 ^{※9} (1,000 ^{※10})
放水路水モニタ	1号機	1.9	2.3	1.9	2.3	7 ^{※9} (70 ^{※10})
	2号機	3.5	4.1	3.6	4.1	8 ^{※9} (80 ^{※10})

※8：降雨の影響による指示変動

※9：この状態が10時間続くとき

※10：この状態になったとき

7 モニタリングポストの測定結果（敷地境界モニタリングポスト及び環境放射線情報システム）（中電データ、県データ）

（単位：nGy/h）

	敷地境界モニタリングポスト（中電管理分）						環境放射線情報システム（県管理分）										
	①	②	③	④	⑤	⑥	西浜陀	御津	古浦	深田北	片匂	北講武	佐陀本郷	末次	大芦	上講武	手結
平均値	23	27	36	24	31	30	47	41	41	29	44	37	31	34	37	38	43
最高値	55	56	68	54	57	49	69	73	71	59	64	66	60	48	71	71	66
月平均の変動幅	19～25	23～29	30～36	21～25	28～33	26～30	平常の変動幅(上限)										
過去の最大値	82	79	115	105	130	100	164	129	111	106	112	114	126	192	127	120	111

平常の変動範囲(上限)を超えた値は、降水の影響と推定される。

（参考）定例プレスでは掲載しない情報の例示

(1) 環境放射線及び温排水測定結果・・・「環境放射線等調査結果報告書」（四半期報）で公表する。

(2) 地震発生時の発電所の状況連絡・・・震度3以上の地震が発生した場合、中国電力から各報道機関へ直ちに連絡することとなっている。

担当：島根県 総務部 原子力安全対策課
 電話 0852-22-5278 FAX 0852-22-5930
 中国電力（株）島根原子力本部 広報部
 電話 0852-82-9093 FAX 0852-82-3514